



世界へのプレゼントになろう

2015～2016 年度

国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 頼雄 ◆副 会 長 / 掛川興太郎
- ◆幹 事 / 前田 博志 ◆クラブ広報・情報委員長 / 矢島 栄一



NO. 1306 平成28年2月9日

◆点鐘	渡辺 頼雄 会長
◆SAA	黒澤 明男 委員
◆ソング	奉仕の理想

【会長挨拶】 渡辺 頼雄 会長

2月8日旧暦の元旦にあたる、中国の工場もベトナムの工場も正月のお祝いです。こんなときにミサイル発射そして核、世界は本気で結束して大人の国に導いて欲しいと痛切に思います。

今日は商売の話で恐縮です。

直接、間接にスマホの仕事で関係のある“シャープ”の話です。2月5日“シャープ再建 鴻海軸”にとあります。(株)産業革新機構と話が進んでいたのですが、買収金額出資金額3000億とか7000億とか、金額が表に出っていますが、今回の進展は本質的なところが大きく異なっていると思います。

日本の産業革新機構はシャープをバラバラにして、液晶をジャパンディスプレイに 家電を東芝と一緒に再建しようと 主力銀行含め官主導の話し合いが進められていました。

カネボウとか JAL の再建で有名になりましたが、我々の感覚から見て国が民間企業を支援すること自体なじめない。

市場経済の原則に反するのではないかと思います。競争原理にも反するのではないのでしょうかと思っておりました。

台湾の鴻海精密工業はすでにシャープとの提携業務があり有力視しており、今回 郭董事長、高橋社長とのトップ会議で2月29日までに交渉が進展してゆくようであります。

日本版と違うところは、シャープのもっている経営資源を全て活用し、更にホンハイの成長に結びつけていることであると思います。

ちなみにホンハイは4カ国に生産拠点をもち 従業員100万人 売上15兆1600億円で設立1974年の会社です。当社も1975年設立 大変興味のある会社であります。

私達も台湾華僑の方と中国は合併しておりますが世界の見方、経済の読み方、時代の読み方、シビアにして大胆な経営手法がとても勉強になります。

【幹事報告】 前田 博志 幹事

1. 望月宗敬ガバナーより「ソウル国際大会」登録の参加について

日時 5月28日～6月1日

場所 韓国 ソウル

2. ロータリーの友事務所よりロータリー手帳注文について 1部 600円(税別)

3. 週報

小諸、南佐久RC

4. (株)クマヒラより抜萃のつづり

例会終了後現及び次期合同理事会

《本日の配布物》

週報1305号、ロータリーの友2月号、抜萃のつづり

◆出席報告 中河 邦忠 委員

会員数23名 出席義務者20名 免除者3名

本日 出席 16名

事前 MU 0名 80.00%

前々回(1/26) MU 0名 85.00%

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会 矢島 栄一委員長

ロータリーの友2月号 紹介

◆ラッキー賞

NO. 1 黒澤 明男君

◆ニコBOX 小林 秋生 委員長

黒澤 明男君	ラッキー賞、ありがとうございます。
青松 英和君	67歳を迎えて、誕生祝ありがとうございました。
前田 博志君	希望さん、黒澤さんいつもありがとう。

渡辺 頼雄君	青松さん、お話楽しみにしております。
小林 秋生君	節分は過ぎましたが、まだ寒いです。風邪などひかないように頑張りましょう。

◆【本日のプログラム】「世界理解月間」 ローターイ財団・米山記念奨学会委員会 青松 英和委員長



「世界理解月間に寄せて」

1905年2月に行われた最初のロータリー例会を記念してロータリー世界理解月間が設けられています。ロータリーの創立者たちが持つ相互扶助、博愛主義の精神を民間レベルで世界に広げ、世界平和の構築に貢献しようとの素晴らしい考えです。

しかし、ロータリーがスタートした20世紀においても二度の大きな世界的規模の戦争を経験

しました。21世紀を迎えた今日でも人は前世紀以上にそれぞれの国の思惑や利害関係を複雑に絡み合わせて、テロ行為と言う形で市民生活の中にまで争いを蔓延化させてきています。

大きな自然災害が起きる度に人は奇跡的に救出された人々に対して慈悲の心を持ってともに大きく喜び合います。反面、今日中東で起こっているパレスチナやシリアの非人道的行為には無慈悲とも思える位の状況が続いています。いったいこの落差は人のどこから来るのでしょうか。

人の善なるものに依拠してスタートしたロータリーです。混沌として矛盾した存在の人のどこかにある善を信じて、飽くことなく活動を継続することがロータリーの神髄であるとも思います。

2016年、111回目の世界理解月間を迎えて考えてみました。

次週のプログラム：2月16日 「新ゴミ処理場について」

小諸市生活環境課 小泉課長

次々週のプログラム：2月23日「IM・会員セミナー報告」